



日本共産党文京区議会議員  
**まんぢち幹夫** 通信 **週刊**  
 2012年2月3日号 No.228

**'みなさんをいつもまんぢち'**

区議団控室：5803-1317 (直通)  
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7  
 ・fax 3868-8355  
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

会計	24年度案	23年度	増減率
一般会計	695	704	1.3
国民健康保険	180	177	1.5
介護保険	132	121	9.2
後期高齢者医療	47	42	11.5

来年度予算額の比較 単位：億円

予算案は、来年も「依然として厳しい財政環境」と分析して、区の基金(貯金)を38億円余り取り崩して予算を組みます。今年と同じやり方です。しかし、今年度の議会にかかる今年度の補正予算をみると、特別区民税が6億円増収になった

文京区の来年度予算案が示されました  
**「品質志向の区政運営」とは？**  
**防災、高齢者、中小企業応援予算も増えず！**

31日、文京区の来年度予算案が示されました。午前10時からの議会運営委員会とその後、全員協議会で説明を受けました。タイトルは「品質志向の区政運営で区民の安心を紡ぐ」...。「品質」とはなんなの？まるで商品の売り込みのようです。このことば一つとっても、区民にとっては、充実した福祉を受ける権利があるのでなく、商品として買う消費者にさせられているようにみえます。「行革」の受益者負担の拡大はこの考え方と連動する！。

ばこ税も4億円余増収 交付金が10億円ほど余計に入ってきた 予算化したけど余った...これらの結果、いまの時点で当初取り崩した貯金に18億円戻す、また40億円を「区民施設整備基金」に新規積立することを明らかにしています。今年度は結局のところ当初見込みと違い7億円基金が減っただけということになります。財政難の強調のあまり、必要な防災、福祉子育てなどの予算が拡充されていません。これから議会で議論、追及します。



年頭の緊急申し入れ



**工夫凝らした新年会  
町会など各団体が開催**

週末、いろいろな新年会がありました。土曜日は、女性団体連絡会。さまざまな挨拶、紹介が終わると、文京区民オーケストラによるバロック音楽、ピアノと弦楽器の演奏に堪能しました。癒されます。

日曜日は表町町会からご案内をもらい出席。120人を超える方々が参加し、子どもさんも多く賑やかです。地元に住む方のバイオリン演奏、マジック、江戸大神楽の獅子舞まで登場し、おとなは喜びおひねりを、こどもは怖がり泣き出して。楽しい時間でした。



**まんぢち日誌**

- 26日 朝 後楽園駅で宣伝。寒い！ピラを受け取る手がなかなか出ません。しかし「税と社会保障」の関心は高いでしょう。80人の方がピラを受け取ってくれました。昼は年金者組合夜は民主商工会の新年会。
- 28日 昼、文京区女性団体連絡会、女性後援会のみなさんと町を歩き、2人に新聞読者になっていただきました。感謝します。夜は党の会議。
- 30日 東京地方裁判所で公判の傍聴。住民の権利をまもる裁判です。裁判官が分刻みで事件をこなすのには実に驚きました。
- 31日 10時の議運、11時全員協議会で来年度予算説明。午後から代表質問づくり。今回は私が本会議質問。